

# 救援物資を空輸

## A M D A 中国地震被災地へ

中国雲南省北西部の震災被災者救援のため、アジア医師連絡協議会(A M D A 本部岡山市梅津)がチャーターした貨物機が十一日、医薬品などの救援物資を積

んで岡山空港(同市日心寺)から中国へ向かった。岡山空港では昨年六月のロシア・サハリン地震救援に次いで二回目。

搭載したのは、抗生物質や点滴のセットなどの医療物資や衣料品、毛布、懐中電灯、靴など計約十六ト。

今回は医療チームなどのスタッフは派遣せず、物資のみを空輸。貨物機は中国・上海経由で被災地に近い雲南省の昆明に向かい、同省政府に救援物資を渡す。同機の任志軍機長(ミ)は「岡山県民らの心のこもった救援物資提供などによって

も感動した。被災者に代わり約二十団体から寄せられた。救援物資は、岡山県下の宗教団体や大学、国際協力団体、企業、阪神大震災の被災地の民間ボランティアグループや自治体など

も感動した。被災者に代わり約二十団体から寄せられた。A M D A は、三日の地震発生以後、救援活動を展開。これまでに第一、第二陣で計八人を中国に派遣。第一陣で昆明入りし帰国した岩



中国に向かうチャーター機に積み込まれる医薬品や毛布などの救援物資=11日午後、岡山空港

永資隆医師(ミ)岡山市は「骨折や首の脱臼の患者が昆明の病院に運ばれている。被災地では医師は多いが、医薬品などが不足している状況だ」と話した。

### 四川省では 豪雪救援へ

中国四川省で豪雪により約二十万人が孤立しているとの情報でA M D A は十一日、医薬品などの救援物資の空輸や医療チーム派遣を決めた。

計画では、広島―中国・西安の定期航空便などで輸送。現地では軍の飛行機による投下で被災者に物資を届けるほか、震災被災者救援のため雲南省・昆明にいる医療チームの一部を四川省に派遣する。